

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

| | |
|-------|-------|
| 区 名 | 港区 |
| 学 校 名 | 弁天小学校 |
| 学校長名 | 嶋田 裕光 |

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・弁天小学校では、第6学年 82 名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

平均正答率は、国語科・算数科ともに大阪市平均を下回った。（国語：-8.7%、算数：-10.4%）平均無回答率については、大阪市平均と比べて国語科は低く、算数科は高い結果であった。（国語：-0.8%、算数：+2.8%）この結果より、より算数科に苦手意識があると考えられる。

質問紙調査では、「いじめは、どんな理由があってもいけないと思いますか」「友達関係に満足していますか」の質問において肯定的な回答が大阪市、全国平均を上回った。また、「英語の勉強は好きですか」については、肯定的回答が大阪市、全国平均を上回ったが、「国語の勉強は好きですか」「算数の勉強は好きですか」については下回った。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

学習指導要領の内容別に見ると、「知識・技能」の「情報の扱い方に関する事項」では、大阪市、全国平均正答率を上回るが、「思考・判断・表現」の「A話すこと・聞くこと」については、特に下回り課題が残る。また、漢字の問題については正答率が低く、他の問題に比べて無回答率が高い。

〔算数〕

学習指導要領の領域別に見ると、「A数と計算」「B図形」「C変化と関係」「Dデータの活用」領域について大阪市、全国平均正答率を下回り課題が残る。

質問調査より

児童質問紙の結果から、本校の児童は自分や友だちを大切にしようとする態度が身についていることがわかる。英語が好きな児童が多く、C-NETや英語専科を活用した授業の成果がみられる。しかし、国語と算数については「好き」と答える児童が少ない。

今年度より算数科を研究教科とし『すべての子どもが「わかった」「できた」を実感できる算数科学習』を主題に掲げ、研究に取り組む。また、4・5・6年生については漢字検定にも取り組み、漢字の習得を目指したい。

今後の取組(アクションプラン)

○基礎学力の向上

「学力向上支援チーム事業（重点支援）」を有効活用する。教育コーディネーターによる国語科・算数科の授業参観を計画的に実施することで授業改善を図り、児童が「わかった、できた」を実感できるようにする。また、学びコラボレーターや学びサポーターによる放課後学習支援（放チャレ）を実施し、児童の学力を支援することで児童の学力の底上げを図る。「大阪市の学力向上支援事業」を活用し、4・5・6年生全員が漢字検定を受検する。受験に向けて学習意欲を高めるよう取り組みを見直していく。

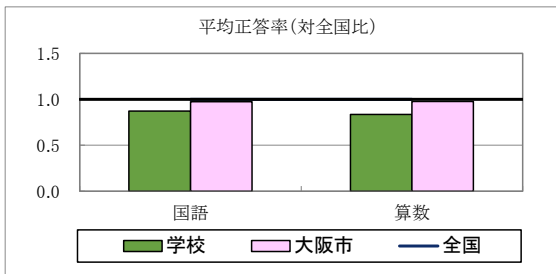
○個を尊重する教育

児童の自尊感情を高めるための取り組みとして、他者から称賛される機会を増やす。（タイピング大会や読書表彰など）

【 全体の概要 】

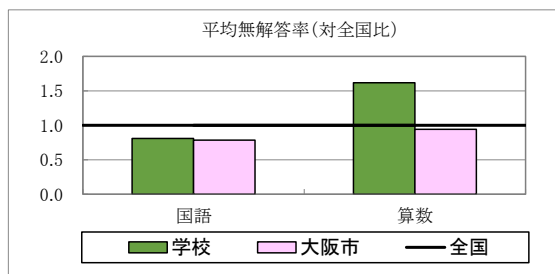
平均正答率（％）

| | 国語 | 算数 |
|-----|------|------|
| 学校 | 59 | 53 |
| 大阪市 | 66 | 62 |
| 全国 | 67.7 | 63.4 |



平均無解答率（％）

| | 国語 | 算数 |
|-----|-----|-----|
| 学校 | 3.4 | 5.5 |
| 大阪市 | 3.3 | 3.2 |
| 全国 | 4.2 | 3.4 |



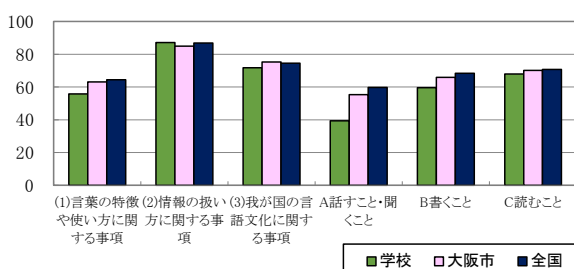
【 国 語 】

| 学習指導要領 の内容 | 対象 設問数 (問) | 平均正答率(%) | | |
|------------------------|------------------|----------|------|------|
| | | 学校 | 大阪市 | 全国 |
| (1)言葉の特徴や使い 方に関する事項 | 4 | 55.8 | 63.1 | 64.4 |
| (2)情報の扱い方に 関する事項 | 1 | 87.2 | 85.0 | 86.9 |
| (3)我が国の言語文 化に関する事項 | 1 | 71.8 | 75.3 | 74.6 |
| A 話すこと・聞くこと | 3 | 39.3 | 55.3 | 59.8 |
| B 書くこと | 2 | 59.6 | 65.9 | 68.4 |
| C 読むこと | 3 | 67.9 | 70.1 | 70.7 |

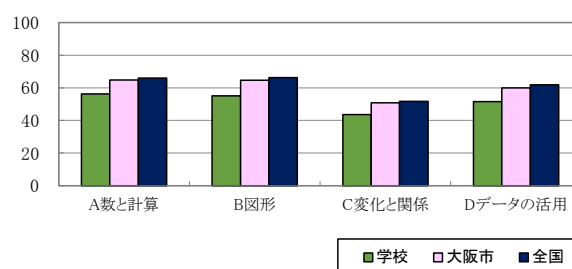
【 算 数 】

| 学習指導要領 の領域 | 対象 設問数 (問) | 平均正答率(%) | | |
|---------------|------------------|----------|------|------|
| | | 学校 | 大阪市 | 全国 |
| A 数と計算 | 6 | 56.2 | 64.8 | 66.0 |
| B 図形 | 4 | 55.1 | 64.6 | 66.3 |
| C 測定 | 0 | | | |
| C 変化と関係 | 3 | 43.6 | 50.8 | 51.7 |
| D データの活用 | 4 | 51.6 | 60.0 | 61.8 |

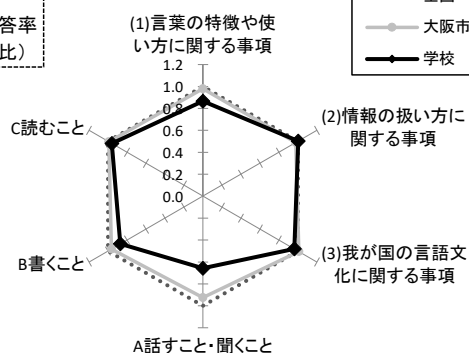
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



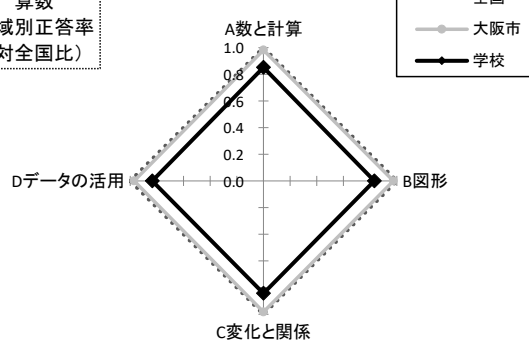
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)



算数
領域別正答率
(対全国比)



児童質問より

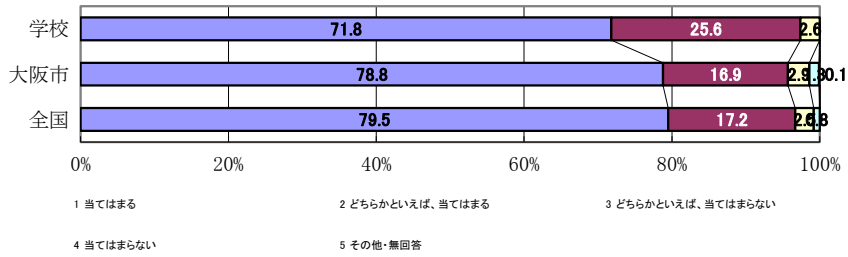
質問番号

質問事項

13

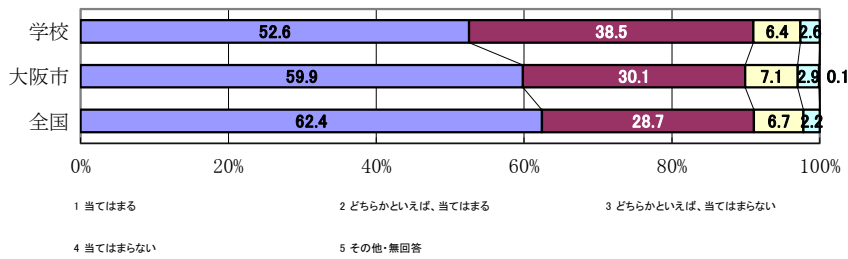
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8



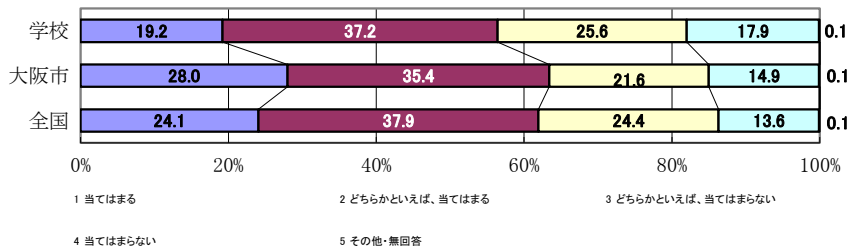
18

友達関係に満足していますか



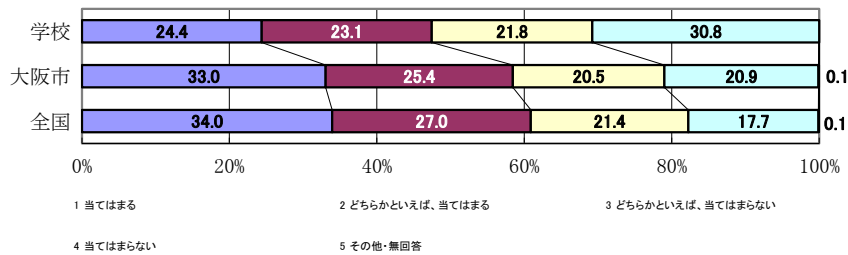
42

国語の勉強は好きですか



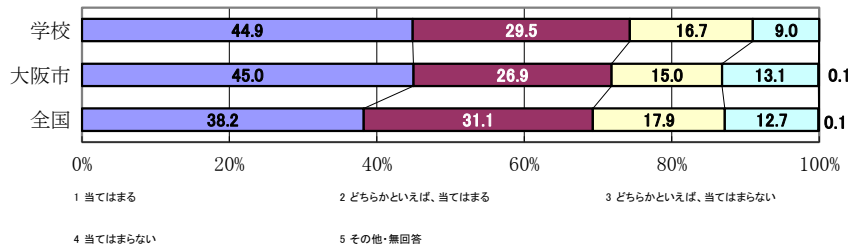
50

算数の勉強は好きですか



61

英語の勉強は好きですか



学校質問より

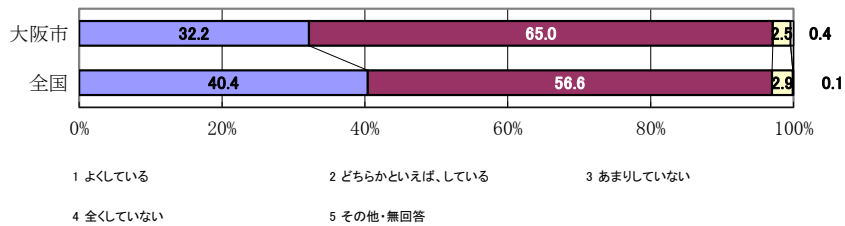
質問番号

質問事項

13

児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか

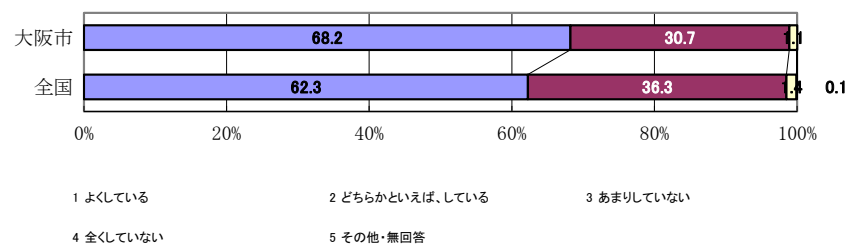
学校 「よくしている」を選択



16

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

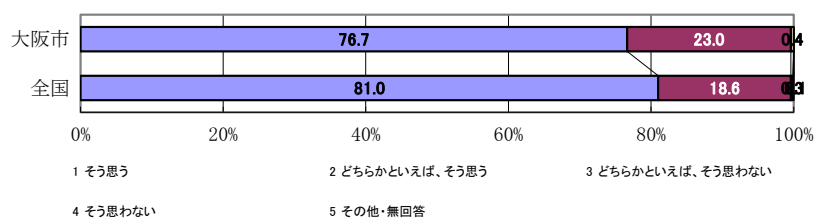
学校 「よくしている」を選択



21

各児童の様子を、担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしていますか

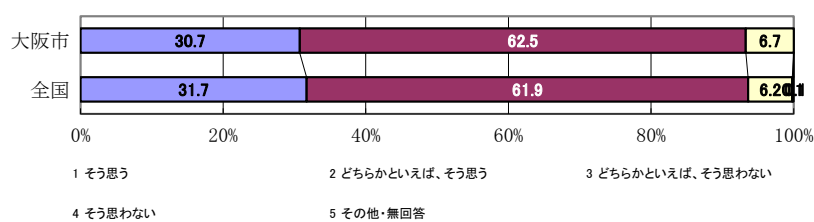
学校 「そう思う」を選択



28

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

学校 「そう思う」を選択



55

コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていますか

学校 「そう思う」を選択

